

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援事業所ながかみ

支援プログラム

作成日

2025 年 3 月 5 日

法人（事業所）理念		・子どもの力を信じ、主体性を育てる ・ハンディがあるなしに関わらず子どもの育つ道筋は同じ ・規則正しい生活リズムを整える			
支援方針		子ども一人ひとりに合った生活支援をしながら自分でできる経験を少しずつ増やし、自信をつけていきます。一年を通してコーナー遊びを展開することで好きな遊び、好きな場所、好きな人を選んで主体的に生活します。その中で興味をもったことに自分のペースで挑むことを大切にして、人とのコミュニケーションや社会性を育てていきます。			
営業時間		平日 8 時 30 分から 15 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	身のまわりのことを毎日繰り返すことで少しずつ覚えていきます。自分でできた経験を増やし就学までに身辺自立を目指します。 健康チェック／衣服の着脱／トイレトレーニング／食事支援／睡眠支援／支度の仕方			
	運動・感覚	遊びを通して身体の使い方を学び、筋力や体幹・バランス感覚の向上に努めます。 散歩／リズム／集団遊び／体操／縄跳び／竹馬／制作／粘土／水・泥遊び／築山			
	認知・行動	発見や体験を通じて考える力や集中力を養い、興味・関心を引き出します。 パズル／積み木／図鑑や絵本／机上遊び（色や形の識別など）／目と手の協応			
	言語 コミュニケーション	言葉だけでなく、身振り手振りやサインなどで他者に思いや要求を伝えたり、感情や気持ちを受けとめる力を育てます。 絵本の読み聞かせ／保育士や子ども同士の関わり／ふれあい遊び			
	人間関係 社会性	ながかみこども園のみんなと同じ環境で生活する中でお互いに刺激し合い、育ちあう姿を大切にしています。 日常における異年齢の子ども達とのふれあい／ごっこ遊び／砂場遊び／伝承遊び／集会への参加			
家族支援		・利用児童の困り事や課題等について、面談やファミリーデーを通して共有・助言を行います。 ・定期的に懇談会を開いています。（年2～3回）	移行支援	学校や園との情報共有を密に行い、利用児童の発育や特性・ご家族の願いなどを考慮し、移行先と一緒に考えていきます。	
地域支援・地域連携		敷地内のながかみこども園と情報共有や支援方法を統一することで一緒に生活できる環境づくりに努めています。必要に応じて利用児童に関わる公共資源と連携・接続を図ることで様々な経験ができるよう支援します。	職員の質の向上	・ケース検討会議 ・外部講師による研修	
主な行事等		誕生会／季節の催し（夏祭り、節分、ひなまつり）、親子遠足			